

## フィリピン保健医療支援事業

活動期間：2010年6月23日～2010年12月21日

報告者：看護師 森 智恵子

フィリピンでは地域医療保健従事者が不足していることから、事業の一環として住民自らが自分たちの村の人々の健康を守れるよう、ボランティアの育成が行われました。ボランティアは地元のお母さん達が中心です。みな自分たちの村をととても愛していて、地元の保健師らと協力し、積極的に地域保健活動が行えるようになりました。ボランティア育成に関わる中で、たとえインフラが整っていないなくても、物がなくても、いつも明るく前向きな彼らの姿にエネルギーをもらいました。また家族や地域との絆、衣食住を確保することの重要性を実感しました。初めての派遣でしたが、この経験は私の価値観を変化させてくれました。フィリピン赤十字のスタッフや地域住民の方々に非常によくしていただき、彼らの笑顔に何度も癒され、忘れられない経験となりました。

